①池の上を泳ぐ150匹のこいのぼり。池ではかかしがこいのぼりを釣っています。
②幅6m高さ4mのフラフがずらりと並ぶ。畑ではかかしが作業をしています。

こいのぼり女池を泳ぐ

4月下旬から5月中旬にかけて、**神池なかよし会**の主催より、女池（めいけ）（物部町神池）周辺に約150匹のこいのぼりと15枚のフラフが揚げられ、多くの親子連れが訪れました。

この催しは、今回初めて行われ、こいのぼりは、同地区の女性住民が中心となり、市内外から集められました。池の上には約90mのワイヤーが3本張られ、豊かな自然の中、気持ちよさそうに泳いでいました。

これらの設置費用には、市の**元気な集落づくり支援事業費補助金**（補助率75％）が活用されています。

シカから守れ　―ボランティア集まる―

4月29日、**白髪山周辺でシカ被害防止のネット張り・ラス網巻き作業**（三嶺の森をまもるみんなの会・高知中部森林管理署主催）が行われ、約90人が参加しました。

木へのラス網巻きは、幹の皮をシカが食べてしまい、木を枯らしてしまうため、被害防止を目的に行うもので、参加者は一束約5kgのネットを背負い、作業場所へ移動し、汗を流しました。

この作業は年数回行われており、主催者は多くの参加者を募集しています。

ラス網巻き作業

特別養護老人ホーム建設開始

▲大栃に建設中の特別養護老人ホームの完成予想図

4月5日、市の公募により計画を進めてきた物部町大栃に開設予定の特別養護老人ホームの起工式が建設予定地で行われました。

当事業は**医療法人豊秋会**が母体となり社会福祉法人**日ノ御子会**を設立し、施設の開設準備を進めています。

施設の名称は**特別養護老人ホーム韮生郷**（にろうごう）で、入居者定員29名、短期入所1名の合計30名。市民が優先して入居できる地域密着型です。

建物は耐火木造2階建て、構造部分には阪神淡路大震災に耐え、東日本大震災の津波にも耐えた特殊な木と工法を使用し、地震対策をとっています。完成は今年10月下旬の予定です。

香美市行政連絡会

4月28日、中央公民館で**香美市行政連絡会**が開催され、106人（自治会総数191）の自治会長が出席しました。

連絡会では『集落調査を現場でどう活かしていくか』と題して、図司直也さん（法政大学准教授）による講演が行われ、「物部川の上流部が元気であることが、市全体が元気であることにつながる」「行政の支援は集落によって現状が違うため、戦略と体制づくりが重要である」と話されました。

市からは、補助金や自主防災組織について説明があり、その後行われた質疑応答では、南海地震が起きた際に、永瀬ダムが決壊した場合の被害想定について質問があり、市は「ダムの管理者である県は、決壊を想定していない」と回答しました。なお、今年度、県は永瀬ダムの耐震性の調査を行う予定です。

消防大会表彰

平成24年度高知県消防大会

4月25日、県立県民体育館において**平成24年度高知県消防大会**が開催されました。

当日は、県内の消防関係者が集まり、消防に関連する各種表彰が行われました。

香美市関係の表彰は表のとおりです（階級等は申請時のもの、敬称略）。

このほか、成績優秀な消防団員の妻として、長年にわたり内助の功を尽くし、その功績が認められ、**内助功労感謝状**が団員の妻へ贈られました。感謝状を受けられたのは、堤園さん（植分団）・西本梅野さん（猪野々分団）・新谷清位さん（神池分団）です。

▲知事から感謝状を受ける新谷さん

種別	受章名	本部・分団	階級	氏名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	西川	分団長	梶原　茂英
日本消防協会長表彰	精績章	本部	副団長	為近　初男
	勤続章	美良布	副分団長	福留　哲男
			班長	岡本　恭一
			団員	明石　満雄
		岩村	部長	武田　真広
		猪野々	班長	西本　秀夫
		繁藤	団員	白川　英紀
		永野	団員	谷内　隆
高知県知事表彰	功績章	本部	団長	三谷　賢一
	永年勤続功労章	楠目	分団長	原　博彦
		岡ノ内	分団長	寺井健太郎
		片地	部長	小松　国広
		新改	班長	田村　幸喜
		永野	団員	小松　功
		大栃	団員	萩野　泰志
		日ノ御子	団員	毛利　哲三
		山田	団員	野口　隆次
高知県消防協会長表彰	勤続章	永野	班長	前田　幸彦
		岩村	班長	今井　嘉男
		美良布	団員	公文　正志
		繁藤	団員	黒河　修
	功績章	植	班長	本井　孝明
		暁霞	班長	市川　誠
		繁藤	団員	山崎志津雄
		岡ノ内	団員	小松　洋介
		佐岡	団員	水田　征利
		永野	団員	黒岩　久志
		大栃	団員	片岡　亮
			団員	眞島　貴彦